

# 災害対策

## 集中豪雨等による浸水被害の軽減を図る取組みについて

答弁: 浸水家屋の発生をゼロにすること、道路の冠水時間を縮減することを目標に取り組んでおります。

大内 清心 議員

大内 近年、集中豪雨等による浸水被害が増えております。大雨による冠水、浸水などの被害を未然に防ぐため、誰でも自由に土のうが取り出せる「土のうステーション」や、止水シートとも言われるビニール製の土のうで運搬や設置が容易な「ウォータージェット」の設置について、地域の防災力の向上を図るためにも必要であると考えます。集中豪雨等による浸水被害の軽減を図る取組みについての考えをお伺いします。

市長

市長 浸水被害の軽減を図るための基本的な考え方として、浸水家屋の発生をゼロにすること、道路の冠水時間を縮減することを目標に、土地改良区や県と連携をとりながら、排水路や堰の管理を適切に行ってまいります。ご提案いただきました「土のうステーション」や「ウォータージェット」につきましても、積極的に市民の皆様へ情報提供していくとともに、市民レベルでの浸水対策についての取組みもお願いできればと思っております。

# 災害対策

## 災害時の「タイムライン」の取組みは

答弁: 「タイムライン」に基づき行動することで、職員の的確な対応がこれからさらに向上していくものと考えております。

竹内 政雄 議員

竹内 利根川と渡良瀬川を抱える本市は、想定される災害の発生前から事後の対応まで自治体が時間軸に沿って関係機関との行動計画を決めておく「タイムライン」を県内の市町村でいち早く導入をしておりますが、災害対策における「タイムライン」への取組みについてお伺いします。

市長

市長 本市においての災害対策は、地形的な条件により、震災以上に水害について対策をきちんと考えていく必要があります。「タイムライン」については、これまでと同じような対応策はとっておりませんが、それを系統的かつ時系列的に行うことで災害対応状況が一覧として分かるものであります。これにより職員自身が通常業務を行いながら、的確に対応できる非常に有効な方策であります。具体的なそれぞれの対策については、改善するところは改善することも大事と思っております。最終的には市民の皆様が、どのような自然状況にあっても安心して住むことができる地域づくりを進めていきたいと考えております。

# 耕作放棄地対策

## 農業放棄地の増加について

答弁: 農業就業人口が大きく減少していく中、耕作放棄地を増やさないためにも、(株)かぞ農業公社において、多くの受託作業や農地の利用集積を引き受けられるよう側面からの支援をまいります。

酒巻 ふみ 議員

酒巻 十分な保全管理がされていない耕作放棄地が増えてきている現状の中で、その要因にはどのようなものがあるのか、また農家人口の推移と(株)かぞ農業公社の今後の取組みについての考えをお伺いします。

局長

局長 農地が耕作放棄地となつている要因は、農業従事者の高齢化や後継者不足により、耕作の継続が困難となり、農業の縮小や経営をやめてしまう農家が増え、農地の保全ができないことや、農地の貸し出しができませんなどがあげられます。農家人口につきましては、2015年に実施した農林業センサスによると販売農家の農業就業人口は、5年前に比べ15%の減、さらに10年前に比べると36.9%の減と大きく減少しております。このような状況の中で、(株)かぞ農業公社は、農地の有効活用を促進し、良好な農地を次代に引き継ぐための支援を目的として設立されました。今後も、耕作放棄地を増やさないために、できるだけ多くの受託作業や農地の利用集積を引き受けられるよう側面からの支援をまいります。

# 子育て支援

## 「子ども食堂」開設希望者に対する支援についての考えは

答弁: 相談を受けた時点での内容により、支援の可否も含めて、設置をお考えの方と相談させていただきたいと考えております。

森本 寿子 議員

森本 放課後の子ども居場所に不安感を感じている親は依然として多く、子どもと子育て家庭を支援する総合的な取組みが必要であります。2012年頃都内で始まったとされる「子ども食堂」は、一人で食事をする孤食の改善や経済的な理由で十分食べられない子どもにも栄養バランスのとれた食事を提供する狙いがあります。

子ども局長

子ども局長 現在「子ども食堂」の設置に向けた支援についての具体的な相談は受けておりませんが、どのような支援を希望されるのか分からない状況です。従つて、相談を受けた時点での内容により、その支援の可否も含めて、子ども食堂の設置をお考えの方と相談させていただきたいと思っております。基本的にはその設置主体が自主的に活動すべきものと考えておりますが、一方、子どもの居場所づくりという観点もありますので、状況を見守るとともに情報の収集をしていきたいと考えております。